

広島県中小企業団体中央会 2023年9月分情報連絡員一覧票

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比▲0.8%、前年同月比+8.9%。売上高は前月比+0.2%、前年同月比+20.5%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

売上は順調だが、原材料代、燃料代、運賃などの高騰が収益性を悪化させている。さらに人件費も上昇し負担が増加している。円安傾向が是正されない限り、業界の業績は良くなれないと思われる。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

- ・売上が減少しており、収益を確保する為には、いかに支出を抑えるかが課題
- ・これから冬に向けて、暖房用燃料の使用が増えてくると、更なる燃料コストの増加となる。加えて、今後の借入に関してはさらに金利が上昇することが予想される

広島県アパレル工業組合

原材料の上昇により、一部商品の値上げを実施した。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

- ・令和5年8月の新設住宅着工戸数は70,399戸で前年同月比▲9.4%、季節調整済年率換算値では812千戸（前月比+4.5%）となった。利用関係別では、持家は20,994戸で前年同月比▲5.9%、貸家は29,364戸で▲6.2%、分譲住宅は19,587戸で▲15.5%、また木造住宅は41,188戸で前年同月比▲4.1%であった
- ・住宅着工動向の前年同月比は、持家の減少が21ヵ月連続となり、貸家が再び減少に転じ、分譲住宅の減少が3ヵ月連続となった。木造住宅は昨年4月以降17ヵ月連続の減少となっており、今後の動向に注視していく必要がある

【広島県】

- ・こうした全国の動きに対し、県内の8月の着工戸数は1,458戸で、前年同月比▲6.4%、うち持家は440戸で+6.5%、貸家は764戸で+10.2%、分譲は252戸で▲44.0%であり、県全体の住宅着工戸数の前年同月比は2ヵ月連続の減少となった。延床面積は前年同月比▲9.8%となっており、木材需要の見通しは厳しい状況にある
- ・プレカット工場の稼働状況がなかなか好転せず、運賃・電気代・人件費等の上昇で採算は非常に厳しい状況にある

福山木材協同組合

底は脱した感はある。年末に向けて多少上向きそうな気配。資材の単価が下がったので同じ販売量でも売り上げはダウンしている。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

- ・生産量はコロナ渦前の水準まで回復している
- ・現場の人材不足が深刻である中で、得意先からは増産能力の確認等がある
- ・EV化が進む自動車業界に対しては、新たな得意先、製品群の開拓が求められる

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・円安が続く限り、原材料やエネルギーコストの高止まりは続き、経営の採算は、中々改善しそうにない状況
- ・昨今の円安が更なる原材料の値上げを誘発している。速やかな円高への転換が必要であると感じる

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

・出荷状況

令和5年09月 2,653 m³ (対前年比99.1%)

令和5年08月 2,577 m³

令和4年09月 2,676 m³

・令和5年度想定数量

800,000 m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼

鋼鉄協同組合連合会

業界全体を通じて人手不足が深刻である。海外からの労働力頼みになってしまうのは、品質や、技術の安定感が損なわれ、最悪の場合、顧客との信頼関係の低下に依る倒産、廃業が増える可能性も全くのゼロではないと感じる。

●金属製品

広島金属工業協同組合

・9月生産は前月比で大幅増加した。操業度は高位安定で不変。昨年比でも大幅に伸びている

・好調な受注状況であったが、下期に入ると更なる増産から一転、▲15%の減産計画が出てきた

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比▲39%、前年同月比は▲35%となった。スポット受注や出荷時期が主な要因といえる。また、日工会が8月23日に発表した月間の工作機械受注実績は前年同月比▲17.6%の1,147億6,000万円と8ヶ月連続で前年同月を下回った。外需では中国が8ヶ月連続で減少。内需では12ヶ月連続の減少となった。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

売上は前月比+10%、前年同月比▲45%となった。前年同月比は顧客の在庫調整の影響を受け減少となっている。また、産業用機械、産業用ロボット、工作機械等の製造業向け受注は引き続き減少している。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

マツダの生産は市場の国内・海外とも需要は盛んで順調に増える状況。8月の台風影響で稼働が減ったが、新型車(CX-60/CX-90)が好調で全体的に生産台数は順調に回復基調にある。

(9月度自動車国内販売動向)

全需は272千台、前年同月比+10.7%と13ヶ月連続で増加。(登録車は+12.5%、軽自動車は+7.9%)、マツダ車は▲23.9%と減少。マツダ車の内訳は、登録車▲33.9%(8.7千台)、軽自動車+28.4%(3.4千台)。

(8月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,340千台で、前年同月比+16.6%と13ヶ月連続で増加。マツダは+18.7%と、前年同月を10ヶ月連続で上回る結果となった。

欧州の全需は951千台で、前年同月比+14.7%と12ヶ月連続で増加。マツダは+17.5%と前年同月を9ヶ月連続で増加。

中国の全需は2,218千台で、前年同月比▲7.0%と減少。マツダは+1.5%となった。

マツダの7月の海外販売は、欧米では回復傾向にあり、タイ、ベトナムなどアジアの主要市場で苦戦は続いているが、合計台数は83.8千台、前年同月比+5.7%と増加となった。

(8月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、前年比+14.0%と回復。一方で国内生産台数は、台風の影響により前年同月比▲1.5%と減少した。

●輸送用機械器具 (造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和5年8月の船舶建造許可実績は2隻、69,200総トンであった。(前月3隻193,700総トン、前年同月5隻111,340総トン)なお、内訳は輸出船が2隻で、貨物船であった。

(一社) 中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業 (総合)

協同組合広島総合卸センター

- ・主に仕入原価や製造原価の上昇が要因となり、売上高や販売単価ともに前年より改善が見られるが、依然として原材料高等による影響により、収益面の改善までには至っておらず、月次損益ベースでは赤字企業がやや増加している
- ・引き続き、資金繰り面において苦戦を強いられている組合員もおり、手元資金のやり繰りで凌いでいる状況。金融環境は長期金利が上昇傾向にあり、資金調達面では金融費用の増加が危惧される。抑制傾向にあった設備投資の回復が見られる一方で、資材価格の上昇も相まって投資計画を変更する事業者も出始めている

●卸売業 (電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

10月よりパナソニックの住宅分電盤が20~30%の大幅値上と、その他工具関係も値上になる。もうしばらく各材料の値上が続く状況。

●卸売業 (畳・敷物)

広島県畳製品商業協同組合

取扱高としては、びんご特撰やJAS畳表ともに前月比では増加したものの、4月からの累計でみた前年比では減少となった。例年10月以降は、需要が増加する傾向にあるため、今後に期待する。

(小売業)

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・市場水産部の取扱高は、台風等の天候の影響から入荷量が低迷したが、単価が上昇したため、ほぼ前年並みの実績となった
- ・市場青果部の取扱高は、猛暑により消費量が低迷したものの、猛暑や局所的な豪雨などにより出荷量が不安定で相場が高くなり、前年をわずかに上回った
- ・円安や資源高による水道光熱費・輸送費の上昇、人件費の引上げ等により、仕入原価と販売経費双方の上昇に歯止めが掛からず、販売価格への転嫁も困難。国の賃上げ要求に対し、従業員の処遇改善を行う余裕がない事業者が多くなっている

協同組合三次ショッピングセンター

組合員各店舗の売上及び客数は昨年とあまり変化はない。組合敷地内の新店舗建設工事によって組合所有駐車場の利用率収入と自動販売機販の販売手数料が通常月の4倍増加しており10月、11月も収益増が期待できる。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和5年8月度販売実績87% (前年同月比)。AV商品86%、白物商品94%、薄型テレビ90% (内有機EL72%)、DVD80%、冷蔵庫100%、洗濯機85%、IHクッキングヒーター81%、エコキュート90%、エアコン96%、炊飯器87%、電子レンジ72%、掃除機98%。

家電商品が一般的に普及し新規需要が望めないため買い替えの需要に期待したいが、買替年数が年々増えて家電商品の販売のみで経営がなりたない状態。従ってリフォームなどの付加価値を提供する事業者が多くなって来ている。今後、スマート家電の需要が高まることが予想されるが、それに対して、従業員の高齢化が進む地方の電器店がどこまで対応できるかが重要になる。

●その他小売業 (燃料)

広島県石油商業組合

原油高騰対策として実施されている燃料油激変緩和対策事業の12月末までの延長が決定した。業界全体では販売量の減少により、厳しい状況が続いている。

(商店街)

●商店街 (各種商品小売業)

呉本通商店街振興組合

8月の盆明けから工事を行っていたアーケードの支柱再塗装(3工区)が9月5日に終了した。工費の一部について呉市からの補助金の申請を予定していたが、諸事情により市の当該予算がすでに消化済みとなっていたため、全額を自費で賄った。

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比+19.7%、前年比▲5.6%
- ・車検場収入は、前月比+18.7%、前年比▲3.2%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲0.6%、前年比▲15.9%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

当月はイベント関連の受注が複数あり、若干稼働した。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、当月は前月比+9.9%、前年同月比▲25.3%となった。全体的には動きが鈍く、売上の苦戦が続く見込み。

福山地区電気工事業協同組合

当月分の受付件数は578件となり前年同月比157%となった。

神辺建設業協同組合

例年と比較し、公共・民間案件共に受注減少傾向にある。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・当月の売上高は、前月比と前年同月比ともに増加した
- ・燃料価格は、高止まりが続いているため、収益状況がますます悪化している
- ・軽油価格は、9月末で終了予定であった国の補助金の期間延長や補助額が上がったことにより、10月時点では大幅値下げとなる予定

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

ドライバー不足が深刻であり、平均年齢が70才近くになるなど高齢化が進んでいる。

松永地区トラック事業協同組合

- ・9月の売上高は、対前月では増加、対前年同月では大きな変化はなかった
- ・政府が石油元売り会社へ支給する助成金が年末まで延長になったが、円安の影響により軽油価格が高止まりしているため、収益悪化の状況は続いている
- ・運賃の値上げが進まない

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高年齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・前月比は長期休暇などの影響で、公的作業等の受注が減少したことにより売上高、収益状況が悪化した。資金繰りは安定している。前年同月比に関しては特に変化は見られない。今年度は固定資産評価の公的評価作業が無い分収入は減少する見込み。
- ・観光客の増加により、飲食店の昼間・夜間の客足が戻りつつあるが、夜間の50~60歳代の飲食店の客足は戻っていない。不動産市場については、材料費の高騰や人手不足により、戸建住宅、共同住宅の建築等が減少しているが、マンション販売については、近時新築マンションの建築・販売が増えている。中古マンションについては依然として販売価格が高値で推移している。